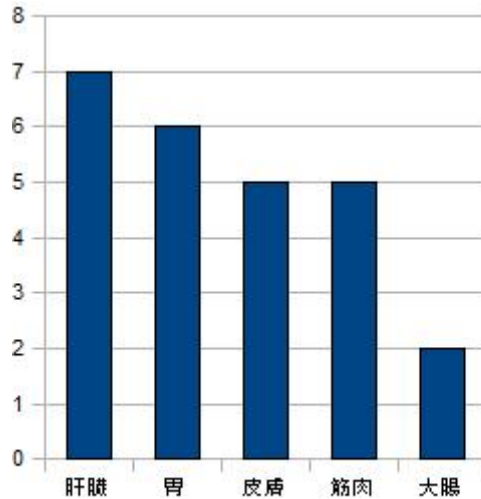


カラダには色々な内臓があります、当たり前ですね。
でもそれらは丈夫なものそうでないものがあります、当然ストレスを受けているところは弱くなっているかもしれません。

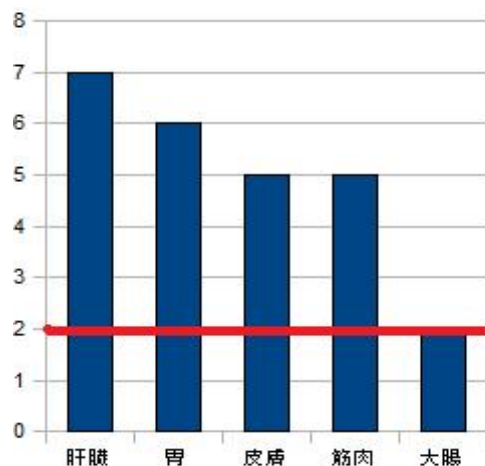
例として内臓の丈夫さをグラフにしてみます。



とりあえず、肝臓がスコア7で一番丈夫としておきます。
そして大腸がスコア2で一番弱いとしておきます。

しかし、いくら肝臓がスコア7でも7の働きはできません。
なぜならカラダの働きは流れ作業なので、一番弱い部分を基準に働くからです。
小学生が運動会で行う「～十何人～十何脚」で一人が早くゴールしても、一番最後に着いた子で順位を判定されるのと同じです。

したがって下記のグラフで示すように、このカラダは大腸のスコア2に合わせた2の働きしかできません。
赤のラインです。



グラフの中に筋肉のスコアがあります、スコア5ですね。

しかし、大腸が2ですから2の働きしかできません。

この状態でスコア3必要な荷重が腰の筋肉にかかる「腰痛」となります。

しかし、どんなに腰を調べても異常はみつかりません、異常は無いのですからみつからないのです。

他の臓器(この場合は大腸)のせいで働きが抑えられているだけなのです。

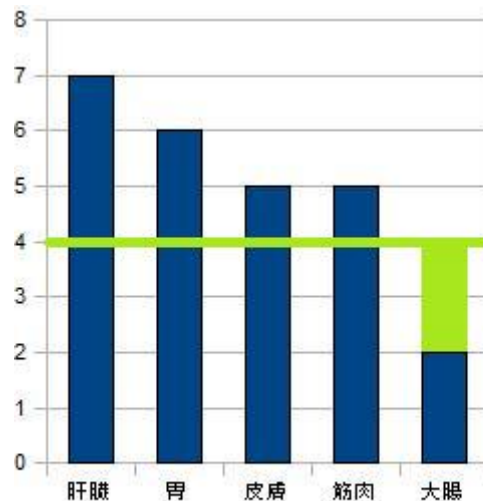
私を見る限り、ほとんどの慢性腰痛はこんな感じで起きています。

しかし、ということは、一番弱い部分のスコアを上げることができれば全身の調子が瞬時に上がることとなります。

本当は「できる」のに弱い部分に足を引っ張られていただけだからです。

大腸がスコア4まで回復すれば、このカラダは瞬時に4の働きができるようになります。

緑のラインです。



こうなると、先ほどのような腰痛も瞬時に改善されます。

ここでは是非注目していただきたいことがあります。

この例でいうと、治療前の状態で肝臓にお酒の飲み過ぎのストレス、胃に食べ過ぎのストレス、皮膚に夜ふかしなど肌に影響を及ぼすストレスなどがかかると問題が起きやすくなります。

ですが、問題への対処方法として、お酒を止めたり、食べ過ぎを止めたり、夜ふかしを止めても、症状は消えない場合、対処方法は「大腸の強化」のみとなります。

「カラダの弱さ」とは病気の直接の原因さえ凌駕する悪影響を及ぼす可能性があるとうご理解ください。